

Ⅰ 団体情報

1 基本情報

団体名	株式会社 札幌リゾート開発公社			所管課	経) 観光・MICE推進課				
				記入者	担当	栗原	電話	011-211-2376	
基本財産	1,020,000千円			本市出資額	200,000千円		(出資割合	19.6%	)
設立年月日	昭和48年（1973年）6月28日			出資年月日	昭和48年（1973年）12月4日				
設立・出資目的	（設立目的） 「札幌市長期総合計画」に基づき、昭和46年度から第1次5ヶ年計画として社会開発の推進のなか、環境破壊等から市民を守り豊かな市民生活を確立するため、自然を生かしたレクリエーション施設等の整備と温泉保養地としての定山溪地区の振興を目的として設立した。 （出資目的） 自然を生かしたレクリエーション施設等の整備と温泉保養地としての定山溪地区の振興を図ることを出資目的としている。			沿革	昭和48年	設立			
					昭和51年	豊平峡電気自動車開業			
					昭和53年	札幌国際スキー場開業			
					昭和57年	ていねプール開業(札幌市受託業務)			
					昭和60年	定山溪温泉スポーツ公園開業			
					平成13年	札幌市藤野野外スポーツ交流施設索道部門(札幌市受託業務)			
					令和2年	札幌市藤野野外スポーツ交流施設単独受託(札幌市受託業務)			
代表者	代表取締役社長（常勤） 熊谷 淳(市OB)								
主な出資者	① 札幌市	(19.6%)	② 日本政策投資銀行	(14.7%)	③ JTB	(11.5%)			
	④ 日本カストディ銀行	(5.8%)	⑤		⑥				

...R7評価シート(R6決算)より転記
...R6具体的な行動計画より転記
...新たな記載欄

配当金の状況

保有株数	400,000株		
配当状況	過去配当歴	あり	
	配当額	配当率(年)	1株当たり配当
R2	0円	0%	0円
R3	0円	0%	0円
R4	4,000,000円	2.00%	10円
R5	6,000,000円	3.00%	15円
R6	6,000,000円	3.00%	15円

2 実施事業

① スキー場事業	② 豊平峡事業
③ ていねプール事業	④ 藤野事業
⑤	⑥
⑦	⑧

⇒「事業ごとの状況」参照

3 団体職員・構成員等

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数
役員					
常勤取締役	1	0	2	0	16
常勤監査役	0	0	1	0	
非常勤取締役			10		
非常勤監査役			2		
職員					
常勤管理職	0	0	6	1	145
常勤一般職	0	0	41	0	
非常勤職員			97		

役員の任期	
取締役	2年
監査役	4年
代表権のある役員の就任年月	
取締役	R5.4
職員総数の推移(人)	
R05.4.1時点	137
R06.4.1時点	137

令和7年4月1日現在(単位:人)

プロパー職員の年齢構成			
10歳代	0	40歳代	13
20歳代	3	50歳代	18
30歳代	6	60歳代	7
平均年齢		49.3	歳

プロパー職員の退職・採用状況(人)					
	退職		採用		募集
	定年	中途	新卒	中途	
R4	2	5	0	5	5
R5	0	3	0	7	7
R6	1	1	1	4	5
R7	0	1	0	2	2

補足 ・転職市場が売り手市場継続中で企業は人員確保が難しい局面のなか、当社の採用活動は一定の成果を上げることが出来ている。・スキーシーズンにはパート・アルバイト・派遣社員の採用により人員を確保している。・今期は索道部門(技術職)の採用に注力する方針。

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分		R5年度決算	R6年度決算	(経常収益比)	(前年比)
経常収入内訳	経常収入 (a+f)	1,540,033	1,819,454	(100.0%)	(+279,421)
損益計算書	売上高 (a)	1,519,736	1,809,458		(+289,722)
	営業費用 (b)	1,319,980	1,518,652		(+198,672)
	うち販売費・一般管理費 (c)	825,706	965,690	(53.1%)	(+139,984)
	うち人件費(d)	457,344	512,234	(28.2%)	(+54,890)
	営業利益 (e)	199,756	290,806		(+91,050)
	営業外 営業外収益 (f)	20,297	9,996		(▲ 10,301)
	当期純利益(g)	199,997	328,362		(+128,365)
	資産(h)	2,610,786	3,098,549		(+487,763)
	流動資産(i)	915,606	1,124,458		(+208,852)
	固定資産(j)	1,695,180	1,974,091		(+278,911)
貸借対照表	負債(k)	639,325	829,327		(+190,002)
	流動負債(l)	282,077	460,670		(+178,593)
	固定負債(m)	357,248	368,657		(+11,409)
	純資産(n)	1,971,460	2,269,222		(+297,762)
	資本金(o)	1,020,000	1,020,000		(0)
	借入金残高(p)	289,100	307,165		(+18,065)

6 所管局による検証（R6行動計画より）

今後の在り方 (設立・出資目的が現在も同様に続いているかにも触れること。)	(1) 団体の在り方、出資の在り方 本市では、定山溪地域の振興を重要な施策と位置づけ、平成26年度に「定山溪観光魅力アップ構想」を策定し、定山溪地区の振興に取り組んできたところ。 また、令和元年度からはスノーリゾートとしてのブランド化にも取り組んでおり、スノーリゾート推進に向けて、市内スキー場、関連事業者、関係団体、行政が一体となって取り組むための指針として「スノーリゾートシティSAPPORO推進戦略」を令和3年度に策定し、事業展開を行っている。 当該団体を実施している豊平峡ダムや札幌国際スキー場における事業は、これらの推進において大きな役割を果たしており、今後も、地域全体の理解・協力を得ながら、札幌市の観光施策をより一層進めていくに当たっては、公共性・公益性を持つ当該団体による積極的な事業展開が期待される。 一方、更なる発展のためには、定山溪地域への配慮や事業撤退リスクなども考慮しつつ、民間企業の資金やアイデアの活用を検討していく必要がある。 以上を踏まえ、当該団体の観光施策の推進を補完・代行する役割や経営状況、民間企業との連携可能性を鑑みながら、札幌市として一定の関与を残す必要があることから出資は継続する。 (2) 経営の安定性や自立を高める方策 (1)を踏まえ、本団体が、出資目的を果たしていくためには、スキー場事業や豊平峡事業、藤野事業において、公共的な役割を果たしつつも多様な主体と連携を図ることで来場者数などを高めて効果的な成果を上げるとともに、時代の変化を踏まえた取組を積極的に進めていくべきと考える。 そのためには、他団体（施設）と比べた独自性の発揮に取り組んでいくべきであり、観光都市・札幌の魅力向上に資する積極的な事業展開を求めていく。 なお、昨今の人件費や物件、光熱費高騰による管理者負担が増加することが想定されるため、契約手法の見直しやDX導入による事務効率化を図ることによって、当面の支出軽減策も併せて進めていくよう求めていく。
--	---

7 他の政令指定都市の状況

なし

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R5年度決算	R6年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	4,761	59,598	(+54,837)
市委託料	139,535	139,646	(+111)
市業務委託料	6,226	5,151	(▲ 1,075)
うち随意契約	6,226	5,151	(▲ 1,075)
市指定管理費	133,309	134,495	(+1,186)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率	0%	0%	(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	113,718	134,801	(+21,083)
うち非公募	0	0	(0)

II 事業ごとの状況

事業内容 1	スキー場事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	...R7評価シート（R6決算）より転記 ...R6具体的な行動計画より転記
		○	/	○	○	
主要事業名	札幌国際スキー場事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		定山溪地区観光振興の一環として札幌国際スキー場の管理運営を行う		

1.事業内容	市支出欄	金額欄
札幌国際スキー場における、リフト・ゴンドラ運行・レストラン運営・各種スクール運営・用具のレンタル・休憩施設の提供・コース整備	市補助金	57,596 (千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)

2.実施結果						
(1)事業収支（単位：千円）				(2)活動指標		
項目	R5年度	R6年度			R5年度実績	R6年度目標
収入	1,192,404	1,574,164		① 会員組織(くるトククラブ)の組織強化(会員数)	14,619	16,500
(経常収益比)	(+77.4%)	(+86.5%)		② 集中レッスンの実施(参加者数)	3,123	3,650
市補助金・交付金・負担金	0	57,696		③ シニアDAYの継続実施(参加者数)	4,809	5,000
市業務委託料	0	0		④ 他スキー場との連携(シーズンネット利)	597	650
市指定管理費	0	0		⑤		
市施設利用料金収入	0	0		(3)成果指標		
自主事業収入（補助金除く）	1,170,589	1,394,980		① 来場者数（人）	271,609	282,000
その他収入	21,815	121,488		②		
				③		
				④		
				⑤		
項目	R5年度	R6年度		3.所管局による評価		
費用（支出）	954,900	1,113,851		事業目的に対して事業の効果は ☐ 十分出ている ☒ 高める余地あり ☐ 出していない		
事業費	862,952	1,011,042		来場者数については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度に大きく落ち込んだが、翌年度以降急速に回復し、令和5年度においては、コロナ前の平成30・令和元年度と同水準となった。令和6年度においては、令和5年度と比較すると減少し、目標を下回っているが、これは路線バス減便や諸物価高騰などの影響が大きいものと思われる。一方でインバウンドは引き続き増加傾向にあり、これを見越した収益改善策も採っており、事業収入は着実に増加している。今後は、定山溪地域との一層の連携等により、国内外の観光客に訴求するような魅力向上に取り組むことを期待する		
管理費等	91,948	102,809				
項目	R5年度	R6年度				
収支差	237,504	460,313				
収支比率	124.87%	141.33%				

事業内容 2	豊平峡事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	R7評価シート（R6決算）より転記 R6具体的な行動計画より転記
		○	/	○	○	
主要事業名	豊平峡電気自動車	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		豊平峡電気自動車・受託事業を通じて魅力ある場所の提供に努める。		

1.事業内容	市支出欄	金額欄
豊平峡電気自動車、受託事業として公園管理	市委託料（随意契約）	5,151（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）

2.実施結果				
(1)事業収支（単位：千円）				(2)活動指標
項目	R5年度	R6年度		
収入	44,102	53,675		① ディケアサービス施設の来場促進
（経常収益比）	(+2.9%)	(+3.0%)		② 地元企業・団体等への販促
市補助金・交付金・負担金	0	0		③ 定山溪温泉、果樹園とのタイアップ設定
市業務委託料	3,205	5,151		④
市指定管理費	0	0		⑤
市施設利用料金収入	0	0		
自主事業収入（補助金除く）	34,230	48,223		(3)成果指標
その他収入	6,667	301		① 来場者数（豊平峡ダム・インバウンド含む）
				②
				③
				④
				⑤
費用（支出）	36,190	53,671		
事業費	33,032	49,716		
管理費等	3,158	3,955		
収支差	7,912	4		
収支比率	121.86%	100.01%		

R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
実施済	実施	実施済
実施済	実施	実施済
実施済	実施	実施済
実施済	実施	実施済
R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
62,040	64,000	61,880

3.所管局による評価
事業目的に対して事業の効果は ☐ 十分出ている ☒ 高める余地あり ☐ 出していない 令和6年度の来場者数については、目標を下回ったが昨年とほぼ同水準となった。電気バス更新に伴う発信の強化や諸情勢を踏まえた料金改定にも取り組んでおり、事業収益は増加している。引き続き、定山溪温泉や、近郊の観光施設等と連携し、定山溪地区全体の観光振興に資する取り組みを実施していただくとともに、繁忙期である紅葉シーズンのみならず、5月～9月における誘客に資する取組の打ち出しを期待する。

事業内容3	ていねプール事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	R7評価シート（R6決算）より転記 R6具体的な行動計画より転記
		○	/	○	○	
主要事業名	ていねプール（手稲稲積公園内）の管理運営	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		ていねプール（手稲稲積公園）の指定管理者として、プールの維持管理、安全確保に関する業務を行う。		

1.事業内容	市支出欄	金額欄
手稲稲積公園、維持管理及び運営（園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務）	市指定管理費（公募）	16,835（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）

2.実施結果			
(1)事業収支（単位：千円）			
項目	R5年度	R6年度	
収入	89,516	97,588	
（経常収益比）	(+5.8%)	(+5.4%)	
市補助金・交付金・負担金	0	0	
市業務委託料	0	0	
市指定管理費	15,161	16,835	
市施設利用料金収入	50,494	54,838	
自主事業収入（補助金除く）	23,168	25,168	
その他収入	693	747	
項目	R5年度	R6年度	
費用（支出）	68,147	70,653	
事業費	60,054	63,520	
管理費等	8,093	7,133	
項目	R5年度	R6年度	
収支差	21,369	26,935	
収支比率	131.36%	138.12%	
(2)活動指標			
	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
① 低年齢層(幼稚園・保育園)への営業活動	実施	実施	実施
② 小中学校の児童・生徒へのチラシ配布	実施	実施	実施
③ 健康増進関連施設へのチラシ配布	実施なし	実施	実施
④			
⑤			
(3)成果指標			
	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
① 全プール利用者数（人）	95,251	81,000	104,288
② 4歳以上中学生以下のプール利用者数（人）	55,975	48,000	49,299
③ 利用者満足度調査(大いに満足、満足の比率)	96.8%	100.0%	96.2%
④			
⑤			
3.所管局による評価			
事業目的に対して事業の効果は ☒ 十分出ている ☐ 高める余地あり ☐ 出していない 令和6年度は、市内小学校の夏休み延長の影響や天候に恵まれたこと、また、キッチンカーの導入によりサービスアップを図ったことなどにより利用者数が前年度と比較し約9%増加した。利用者数が10万人を超えたのは、平成25年に小中学生を有料化してからは初めてとなる。利用者満足度調査結果については前年度に引き続き高い水準を維持しており、市民の憩いの施設の提供を達成できていると考える。引き続き利用者の安全性、利便性の向上に取り組み利用者数の増加につなげてほしい			

事業内容 4	藤野事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	R7評価シート（R6決算）より転記 R6具体的な行動計画より転記
		○	/	○	○	
主要事業名	Fu'sスノーエリア索道・コースの管理	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		指定管理者として藤野野外スポーツ交流施設の索道・コース管理業務を行う。令和2年4月から単独で指定管理業者となり同施設の管理運営を行う。		

1.事業内容	市支出欄	金額欄
藤野野外スポーツ交流施設の管理運営に伴う、施設・設備維持管理業務、施設開放業務（利用料金制度）、スポーツ普及振興業務	市指定管理費（公募）	121,231（千円）
	市補助金	2,002（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）
		（千円）

2.実施結果				
(1)事業収支（単位：千円）				(2)活動指標
項目	R5年度	R6年度		
収入	228,880	265,974		① 営業日数
（経常収益比）	(+14.9%)	(+14.6%)		② ※R7年度夏期は改修工事等により全休
市補助金・交付金・負担金	0	2,002		③
市業務委託料	0	0		④
市指定管理費	121,190	121,231		⑤
市施設利用料金収入	63,224	79,963		
自主事業収入（補助金除く）	38,017	62,778		(3)成果指標
その他収入	6,449	0		① リフト輸送人員数
				②
				③
				④
				⑤
項目	R5年度	R6年度		
費用（支出）	250,742	269,417		
事業費	232,372	249,963		
管理費等	18,370	19,454		
項目	R5年度	R6年度		
収支差	▲ 21,862	▲ 3,443		
収支比率	91.28%	98.72%		
3.所管局による評価				
事業目的に対して事業の効果は				□十分出ている ■高める余地あり □出していない
令和6年度については、12月25日に冬季営業を開始し、利用料金収入及びリフト輸送人員数ともに、積雪不足により営業開始が遅れた昨年度実績を大幅に上回る結果となった。また、競技団体等と連携・調整し、スキー学習の積極的な受け入れや支援、スキー検定、リュージュ・スケルトン体験会の実施、スキースクールの運営等により、ウィンタースポーツの普及振興に寄与しているほか、リフト券等の事前予約・オンライン決済の導入や無料シャトルバスの乗降場所を増やし運行ルートを工夫するなど、利便性向上や利用促進に努めていることは評価できる。今後も鉄道事業法に基づく安全な索道運行を実施するとともに、施設の利用者数増加につながるよう、一層のサービス向上及び施設のPR等に努めることを期待する。				

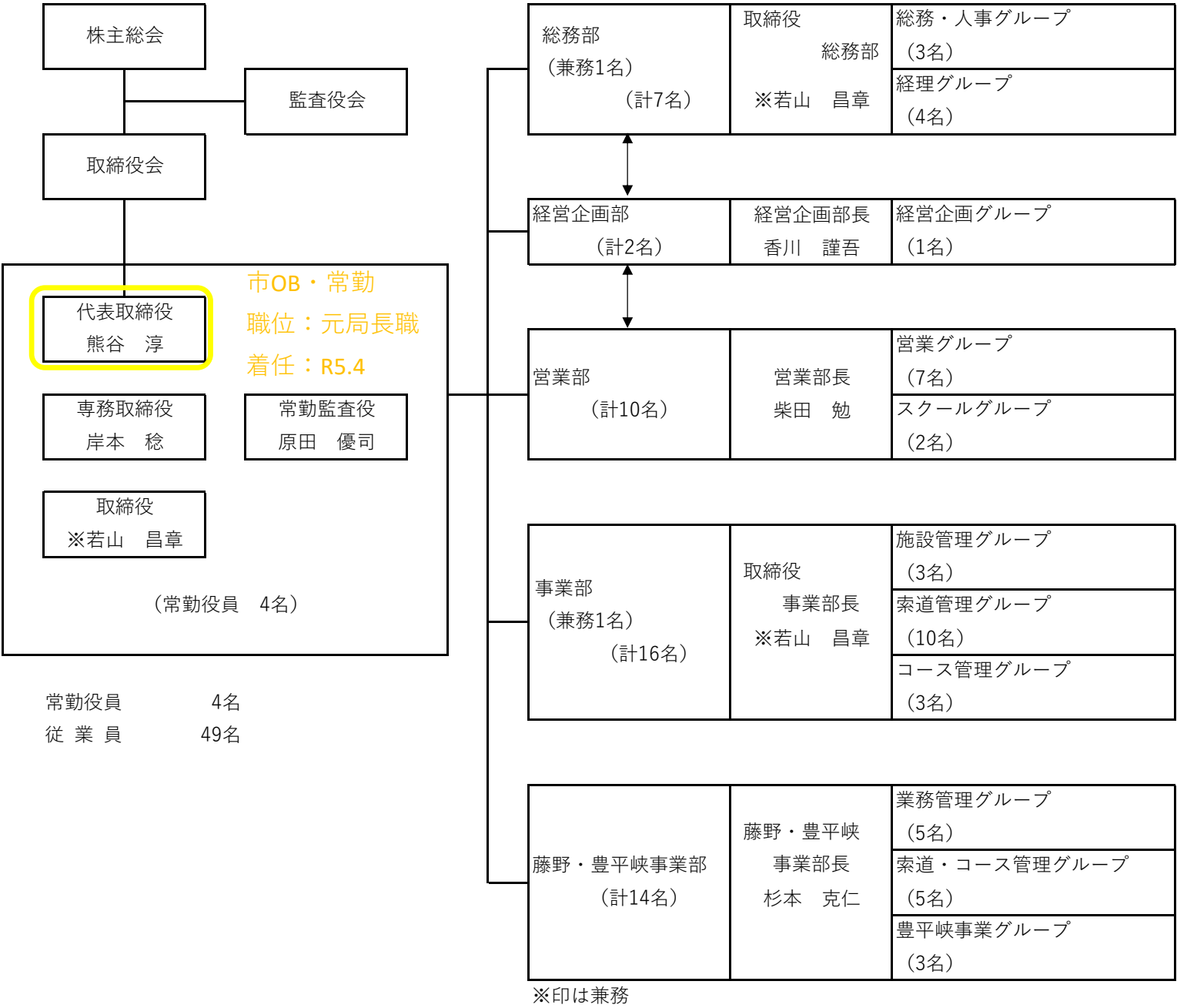
III 役員・管理職情報

令和7年7月1日現在

OB・現職	役職	団体職名（現在）	市職位等（出身）	就任年月日	職務内容	派遣・再就職が必要な理由
市OB	常勤役員	専務理事	元部長職	R〇.〇		（R6具体的な行動計画の人的関与欄、市職員部HP公表内容等を参照の上、入力ください）
市OB	常勤役員	代表取締役社長	元局長職	R5.4	観光、レクリエーション施設の管理運営をはじめとする当該法人の会社約款に定める事業運営を通じて、適正な経営管理を行うこと。	当該法人の事業は観光、レクリエーション施設の管理運営をはじめとして札幌市の各施策の一端を担っており、札幌市と当該法人との連携強化が必要不可欠であることから、札幌市での行政経験豊富な人材が必要であるため。
現職	非常勤役員	取締役	局長職	R7.8		

株式会社札幌リゾート開発公社 組織図

(2025/6/1現在)



常勤役員 4名
従業員 49名

札幌リゾート開発公社役員名簿（R7.4.1現在）		
職務	氏名	就任年月日
代表取締役社長	熊谷 淳	R05.04.24
専務取締役	岸本 稔	R06.08.27
取締役	若山 昌章	R05.08.29
常勤監査役	原田 優司	R05.08.29